

研究課題名	神経変性疾患での自宅療養可能期間
本研究の目的	全ての神経変性疾患は確実に進行し、自宅療養できなくなる日が必ず訪れる。外来診療ではその日に向けての準備が不可欠である。自宅療養可能期間を知ることによって、長期的視野での外来療養スケジュールを立てやすくなることが期待される。
研究期間	倫理委員会承認後～2026年3月31日
調査データ該当期間	1990年1月1日～2021年3月31日
研究の方法	<ul style="list-style-type: none">●対象 上記期間の、神経変性疾患の症状を自覚し、当院脳神経内科への外来受診歴または入院歴がある例。●用いる試料・情報 被験者背景である発症時期、年齢、性別、初発症状、自宅療養不能時の重症度、介護度、自宅療養不能前後の療養環境など
お問い合わせ先	電話：0944-58-1122（代表） 研究責任者：河野祐治（脳神経内科）